

〔第1回〕

ミステリー小説の美女いろいろ 比較文学的に考える

日時：2013年11月16日(土) 14:00～16:00 (13:30開場)

場所：大阪府立大学 I-site なんば (南海なんば第1ビル2階)

14:00～15:30

講演：堀江 珠喜 (大阪府立大学教授)

スキャンダルや事件に関わった若い女性が「美女(美人)」として報道あるいは物語られることは稀ではない。ただし多くの場合「美」の基準が極めて曖昧で「それほど綺麗じゃないのに」との陰口が伴うこともある。だが、一般的にこのくらいの誇張は、マスコミなどの常套手段とみなされているのではあるまいか。そのように単なる客寄せ文句とわかっていても、やはり「美女」は大衆受けする「記号」なのだ。ミステリー(推理)小説においても同様で、被害者、加害者、探偵役のいずれかに「美女(?)」が起用されることは、特に近年多いように思われる。映画やテレビドラマといった視覚化の機会が増え、その傾向が強まったのかもしれない。この講座では、ミステリー小説に登場する「美女」とやらの女性に注目し、その描かれ方や役割などの変遷について比較文学的に考えたいのである。

15:30～16:00

講演者との質疑応答

対 象 どなたでも

受 講 料 500円(本学学生・院生・教職員は無料)

申込方法 氏名(ふりがな)、住所、電話番号を記してEメールまたはFAXでお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報は、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申 込 先 大阪府立大学女性学研究センター

Eメール: joseigaku@gmail.com FAX: 072-254-9947

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問 合 せ 先 大阪府立大学女性学研究センター

〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 TEL: 072-254-9948 (月～金: 14:00～17:00)

会 場 大阪府立大学 I-site なんば (交通アクセスは裏面をご参照ください。)



大阪府立大学 女性学研究センター
2013年度 第17期 女性学講演会
女性学・ジェンダー研究の現在
— 11月16日～2月1日 —

第1回 11月16日(土) 14:00～16:00	会場：大阪府立大学 I-site なんば2階
ミステリー小説の美女いろいろ ー比較文学的に考える	堀江珠喜 (大阪府立大学教授)
第2回 12月1日(日) 13:30～15:30	ドーンセンター5階 セミナー室2
生殖技術により生まれた子どもの 出自を知る権利	才村真理 (帝塚山大学教授) コーディネーター：浅井美智子 (大阪府立大学教授)
第3回 12月14日(土) 14:00～17:00	大阪府立大学 I-site なんば2階
芸術、文学とジェンダー ■ テオフィル・ゴーチエと造形芸術 ーゴーチエの「石の夢」ー ■ テオフィル・ゴーチエと舞台芸術 ージゼルはどこに?ー	大阪府立大学人間社会学部「文学とジェンダー」共同研究プロジェクトと共催 村田京子 (大阪府立大学教授) 澤田 肇 (上智大学教授)
第4回 1月11日(土) 13:30～17:30	ドーンセンター5階 特別会議室
日韓女性運動の到達点とジレンマ ー新たな主体の構築をめざして (予定)	アジア・太平洋人権情報センター、大阪府男女共同参画推進財団と共催 パク・イネ (聖公会大学実践女性学講師、仁川女性ホットライン理事) コーディネーター：伊田久美子 (大阪府立大学教授)
第5回 2月1日(土) 13:30～15:30	大阪府立大学 I-site なんば2階
スポーツにおける セクシュアル・ハラスメント (予定)	熊安貴美江 (大阪府立大学准教授)

※開場は開始時刻の30分前です

大阪府立大学 I-site (アイサイト) なんば

<交通アクセス>

- * 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」より南へ約800m、徒歩約12分
- * 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」より南へ約1000m、徒歩約15分
- * 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」東へ約450m、徒歩約7分
- * 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」より西へ約450m、徒歩約7分
- * 南海電鉄高野線「今宮戎駅」より北へ420m、徒歩約6分

注：高野線の各停のみ停車します